

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

国際的なルールを形成し、影響力を行使する

1. ルール形成は市場創出の手段になる。日本の大企業が国内でのシェア争いで成長できる時代は終わった。これから売上や利益を伸ばすためには、新たな市場で「食いぶち」をつくることが欠かせない。スタンダード（規格）とレギュレーション（規制）の組み合わせが大切だ。規格だけでなく、その規格に合ったものでなければ政府調達の優遇対象になれないといったルールもつくるなどすれば、ビジネス上のインパクトになる。
2. 「標準化を知財やマーケティングと共に総合的な事業戦略に組み込みたい」。こう語るのは島津製作所の稲垣史則最高標準化責任者（CSO）だ。稲垣氏は経済産業省の出身。同省によると、2024年12月時点でブリジストンや愛知製鋼など国内約70社がCSOを置く。
3. 日本企業が提案した国際規格も生まれている。QRコードはデンソーの子会社のデンソーウェーブが開発し、00年にISO規格となった。IECでは22年、TOTOが主導した温水洗浄便座（ウォシュレット）の性能測定方法が規格化された。経産省は22年度から「ルール形成戦略研修」を開いている。

(参考：日経ビジネス「2025年1月13日号」)

ワンポイント経営アドバイス

本当の戦略をどう推理するか

井上達彦（早稲田大学商学学術院教授）

1. 非財務情報の開示をめぐる動きとして、今や、経営戦略をステークホルダーに説明するのは当然のこととなりつつある。ただ本来、戦略というのは機密性の高いものである。肝心なところは公にせず、着々と準備を進めているほうが優位に立てるはずだ。国家戦略にしても軍事戦略にしても、そうしているに違いない。
2. ステークホルダーは、利害関係を共にする企業の認識や知恵や工夫を、競争相手にも広く知らしめてほしいと本当に思うだろうか。結局、戦略に関わる肝心な情報は公開していないのかもしれない。開示してもよい部分とそうでない部分を切り分け、期待を持たせるストーリーだけを語っている可能性は十分ある。
3. そうだとすれば、ステークホルダーにしても競争相手にしても「公開された戦略」から「本当の戦略」を推理する必要がある。手に入りうる手がかりから見えない部分までを推し量り、行間を読み解きながら推理しなければならない。

(参考：「週刊東洋経済」2025年2月15日号)

経営者のための理念・哲学

人生は志を立てて前進するもの

数土文夫（JFEホールディングス名誉顧問）

1. 運を高める人は、よいことを習慣化する。ではよい習慣とは何かといったら、一つは志を常に持っておくことだと考えています。人生の中では志が挫（くじ）けるようなこともあるでしょう。その時は、新しい志を掲げて前進しなくてははいけないのです。
2. 次に読書することです。特に歴史書などを紐解（ひもと）くと、世の中には想像を絶するほど不幸な人たちがたくさんいることが分かる。そういう歴史を知るほど、自分の悩みの小ささが分かって穏やかになれる。この古きを知ってエネルギーに変えていく力を持つのが読書だと思います。このよい習慣というのは私の人生のキーワードです。
3. また、運を高めるためには福沢諭吉のいう独立自尊の確固たる精神がなくては駄目です。誰かが何とかしてくれるという考えではなく、自分の意識と行動を変えてこそ運は開かれるものです。

(参考：「致知」2025年4月号)

古典に学ぶ

視野を広げ好奇心を持つ

1. 木を食べて生きる虫は、ほかの食べ物の味を知らない。すぐ近くに甘い果実ややわらかい草があったとしても、そのおいしさに気づくことはない。
2. この一文で空海が教えているのは、「自分の知っている場所がすべてだと思っていると真理はつかめないし、悟りも開けない。視野を広げ、好奇心を持て」ということです。

(参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社)